

副部長雑感

続・「その日」のために 研究成果に感謝！



あきやまきょうこ
秋谷京子

全国公立高等学校事務職員協会研究副部長
千葉県立特別支援学校流山高等学校園（事務主幹兼事務長）

前回担当した本欄に、全国事務職員研究大会の研究発表を活用したい思いがあることを記しました。熊本県の「学校事務職員」の『絆』とGJ Work Note 後輩へ贈る仕事術」という研究発表に関してで、自分用にカスタマイズした「GJ Work Note」を作り、「引継書」の代用とする提案に興味を惹かれたのです。

「事務日誌」は続けていきましたが、昨夏の大会以降は「GJ Work 秋谷Ver.」の作成を業務目標に加え、まずは前年度について振り返った試作版を作成しました。年間を通してものができたところで、平成28年度分を整理。なんとか形になったのは、年明けでした。

3月下旬、異動の内示がありました。その職場での勤務年数はまだ2年。区切りの年まで残っている年数はもうわずかです。転勤することはあまり考えていませんでした。

ここで、目の目を見ることとなったのが「GJ Work 秋谷Ver.」です。

次年度に向けて自分の備忘録とするはずだったものが、まさしく「後輩へ贈る仕事術」として活かされることになりました。

誰しも異動先では、前任者の足跡をたどることから始めませんか？ 一年の流れ、一月の様子を知ることができれば、以前からその職場にいたような安心感みたいなものが……。そこにまさしくうってつけとなったのが「GJ Work Note」でした。「その日」までに、この人は何をしていたのか、「その日」以降に何をしようとしていたのか、記録をたどれば来し方行く末の見当が付き、続く方の負担を軽くできる」となったと自負しています。

また、異動に際しては、後任となる方だけでなく、事務長を補佐してくれる主任の立場である事務職員にも同じものを置いてきました。同じものを携帯し確認し合うことでコミュニケーションが取りやすくなり、さりげなく新任事務長をフォローしてもらっていると期待しています。

発表者の皆さん!! 忙しい日常業務の中で熱心に研究された成果は、全国で発表されることでこうして活かされているのだと、自信を持っていただきたいです。そして、研究大会で培った全国の皆さんとの親交を大切に、かつ、有意義に続けてお互いの資質向上につなげてくださいね。

7月27日から28日。今年は金沢です。美味しい料理だけでなく、またまた美味しい研究発表に期待しましょう。